

洗心



Quality of Life
過去を活かし、未来に生きる

Photo : 「ケアハウスシルバーケア豊壽園」津市高茶屋

『今』を生きる

津地区第一老人介護事業部 部長 中島 悟

平素より皆様には社会福祉法人洗心福祉会の事業運営にご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、令和3年度を迎える時とは違う気持ちでスタートするこの時期、皆さま方はどの様に新年度を過ごしていらっしゃいますでしょうか。当方においては新入社員の指導、介護保険制度改革への対応、新型コロナウイルス感染症対策と課題が山積みの状況にあります。

令和2年度は新型コロナウイルス感染症の対応に追われた一年でした。未だ落ち着かない日々が続くなか、新型コロナウイルス感染症に関する情報は刻々と更新されています。今ではワクチン接種に注目が集まるなか今後の展開が気になります。

大阪大学が1万2千人に行ったアンケートによると 65歳以上の人では、周りに接種を希望する方が増えると接種する方が増える傾向がみられるとの事。いかにも日本人らしい傾向と思われますが、この流れには日本のワクチン接種の歴史が関係しているのではないかと想像されます。

「予防接種法」が誕生した当時（1948年）、天然痘、腸チフスなどの12疾病が対象となり、接種は「義務」とされました。怠ると”罰則”を用いる義務接種”として位置付けられ、多くの方が救済される反面「種痘後脳炎」などの健康被害が社会問題化となり、ワクチン政策は見直しを迫られました。1976年には予防接種法が改定され”罰則なしの義務接種”へと変わり、接種後の健康被害における救済制度もつくりされました。1992年には「予防接種被害東京集団訴訟」が起こり東京高等裁判所は損害賠償の支払いを国に命じるという経緯があります。更に1994年には、「義務規定」から「努力規定」へと変更され、予防接種への強制力が無くなり流れは「集団接種」から「個別接種」へと大きく変化しました。そして2020年12月改正、新型コロナウイルス感染症に係る文言が追加されました。

予防接種は社会の混乱を落ち着かせ命を救う事に大きく貢献してくれた反面、健康被害を被った方を生み出した事実もあり、高齢者の方が予防接種に対して疑心暗鬼になるのも否めない経過がうかがえます。

津市高茶屋の地域総合ケアセンターにおいては高齢者施設、保育園を同敷地内で運営しているなか、高齢者と園児の交流は欠かせない取り組みとなっております。園児と手をつなぎ一緒に唄う、ハグ（抱擁する）をする、一緒にカレーを食べるといった当たり前だった風景が今は見ることが難しくなっています。命を守る行動がこのような状況を生み、人として幸福感を得にくい状況になっている現状があります。アクセルなのかブレーキなのか？こんな問い合わせをよく耳にしました。人が生活していくためにはアクセルとブレーキの中間の対応が必要なようです。その為にもワクチン接種は有効な手段であり、最大限生かす事、そして高齢者支援に携わる者の力量が試されていると思います。ワクチン接種の最終目標が「集団免疫」の達成であれば、高齢者支援の現場においては「QOL(生活の質)」の維持・向上を目指す！と言うことになるでしょうか。今後も法人の理念を念頭に様々な変化に対し、前向きかつ、柔軟に挑戦し続けていきたいと思います。

新人職員紹介

Introducing new friends

令和3年度、新たな仲間を紹介します。
どうぞよろしくお願ひいたします。



comment 保育士
笑顔を忘れず、一生懸命がんばります。よろしくお願ひします。



comment 保育士
音楽がもつ力で子どもの豊かな表現力を育てていけるような保育士を目指したいです。



comment 保育士
いつも笑顔で明るい保育士を目指して頑張ります。



comment 保育士
相手の気持ちを尊重できる保育士になりたいと思います。



comment 保育士
一生懸命がんばりますので、よろしくお願ひします。



comment 保育士
子どもの気持ちに寄り添える保育士になりたいです。



comment 保育士
温かい笑顔にあふれる保育士になりたいです。



comment 保育士
明るく元気いっぱいの笑顔で、子どもたちが毎日楽しい園生活を送ることができるような保育士になりたいです。



comment 保育士
体を動かす事が好きなので、子どもたちと外遊びする事が楽しみです！よろしくお願ひ致します。



comment 保育士
どんな時も笑顔を忘れず、子どもたち1人ひとりに寄り添い、子どもの居場所になれるような先生になっていきます。



comment 保育士
10年以上のブランクがありますが頑張りたいと思いますのでよろしくお願ひします。



comment 保育士
子どもたちが家に帰ってからも私のことを話してくれるような保育士になりたいです。



comment 保育士
とても緊張していますが、一生懸命頑張りますので宜しくお願ひ致します。



comment 保育士
子どもの少しの変化にも気づいていき保護者の方に伝えることの出来る保育士を目指したいと思います。



comment 栄養士
初心を忘れず日々精進していきます。よろしくお願ひいたします。



comment 管理栄養士
桑田渚と申します。楽しみにしてもらえるような食事を提供していくように頑張ります。



comment 柔道整復師
かけがえのない仲間と共に、少しでもご利用者様が生き生きと過ごして頂けるよう頑張っていきたいと思います。



comment 看護師
初心を忘れず頑張ります。皆様よろしくお願ひします。



comment 看護師
病棟看護師での経験を活かし、誰もが過ごしやすい施設を目指します。



comment 看護師
これからもご利用者様一人一人が在宅で、その人らしく生活できるよう精一杯支援していきます。



comment 看護師
先輩方から多くの事を教わりながら、日々勉強をしていきたいと思っています



comment 看護師
今までの経験を生かして頑張ります。



comment 看護師
介護が必要となった方でも、その人らしく過ごせるような環境づくりをしていきたいです。



いせの杜保育園



ひなまつり -Hina Festival-



桃の節句にちなんで、保育園では各クラスがひな飾りを作ります。それぞれの年齢に合わせたおひなさまの制作では、手形や指で模様を表現したり、素敵な柄の千代紙を切って着物の模様にしたり、個性豊かな世界に一つだけのおひなさまが出来上がりました。

みんなの作品をひな壇に飾り、子どもたちの健やかな成長を願います。

また、2歳児～5歳児の子どもたちは、保育士の手づくりの着物を着て、おだいりさまとおひなさまに変身し写真撮影をします。どの子もすまし顔でとっても嬉しそうです。ひな飾りと写真は、ご家庭で飾って頂けるようにしていますが、持ち帰る日は「見て見て!かわいいね!」「嬉しそうにしてるねえ」と、お家の方との楽しそうな会話が聞こえてきました。





今年は新型コロナウイルス感染症の影響により、毎年おこなっていた老人交流会が中止となり、直接施設へ行くことが出来ない為、きりん組(5歳児)の子どもたちが、おじいちゃん、おばあちゃんに手紙を書き、保育園の近くにあるポストまで歩いて投函しました。手紙を届けるには、切手を封

筒に貼る必要があると子どもたちに

説明すると、「へーー！これで届くんや！」という声が聞こえてきました。また、一人ひとりが机に向かい、真剣にメッセージを書いていました。

施設の方に直接お会いすることは出来なくとも、手紙を通して子どもたちの思いが伝わればいいなと思

います。



| 第1回介護技術コンテスト開催

接遇委員会



3月13日(土) 法人本部にて接遇委員会主催『EVANGELISM OF SENSIN CARE 2021 カイゴの伝道～響け、キミのカイゴとオモイとトモに～』が開催されました。

当委員会としても初となる法人内を開催する介護コンテストです。

今回から開催する介護技術コンテストは、法人内の各事業所の良い取り組みを共有し、事業所への還元と法人全体の質の向上を目的に開催してきた『一つWAKE発表会』の今後を考えるなかで誕生しました。

Evangelism(エバンジェリズム)とは、「伝道」と直訳します。

このコンテストを通し、『介護の魅力を!』『自分たちの想いを!』伝えたい。

また、自分たちの介護技術の向上に向けて、事業所や職員個々のそれぞ

れの目標としての趣旨のもと開催いたしました。

コンテストの課題等については、知識や技術面だけではなく、施設をご利用していただく方が気持ちよく過ごしていただく為の環境設定はもちろん、気配りや姿勢などの接遇面も大切にしたもので、当法人独自の取り組みである「おもてなしTO-DO」の要素も加えた評価体系で競います。施設をご利用していただく方の生活の一部に関わらせていただく介護職員にとって「おもてなしの心」は非常に大切です。知識や技術面だけではない総合的な力が求められます。

介護の専門職としてこのコンテストのタイトルにある Evangelism(エバンジェリズム)「伝道」を体現する伝道師(エバンジェリスト)の誕生を目指すという要素も含まれています。

コンテスト当日は、法人内の各介護より推薦枠・自由参加枠より選ばれた10名が、その経験・想いを伝えてくれました。新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、当日の参加者は限られた状況でしたが、10名それぞれの熱い想いはきっと届いた信じています！

このコンテストを通じ、また新たなチャレンジへのきっかけにもしたいと考えています。乞うご期待を！



| 通所事業所における記録のICT化

地域総合ケアセンター第1通所介護センター



令和3年度から通所事業所(デイサービス・通所リハビリテーション)において電子カルテを導入していきます。具体的な機能としては、バイタル情報・食事・水分の摂取量・日常の様子・普段の様子や傷などの写真、動画の撮影等が一括して管理ができるようになります。

今まで紙媒体に書き別々に管理していた内容が、タブレット1台ですべて管理・観覧が行えるようになります。これまでの紙媒体から、電子カルテへ入力し保存するというデジタル化を実感しています。

また、電子カルテでは音声入力も対応しており、なんと日本語を含む4ヶ

国語も対応しています。

今後は、記録のICT化を進めていくことで、ご利用者様やご家族様に対して具体的な細かな情報を視覚的にお伝えすることが可能になると考えられます。そのため、今よりもさらに良いサービスに繋げていきたいと思います。



編集 今回のあなたにクリックは津介護老人保健施設の管理栄養士、山本海智香さんです。
宜しくお願いします！

山本 よろしくお願いします。

編集 では、早速ですが平成31年4月に入社され、もうすぐ3年目になろうとしていますが仕事の方はいかがですか？

山本 毎日大変なこともありますが、ほんとに楽しく毎日仕事をさせて頂いています。

編集 どのようなことが楽しいですか？

山本 ご利用者様とかかわるのはもちろんですが、施設長はじめみなさんが優しく接してくれます。仕事のこともプライベートのことも楽しく話せ、相談に乗ってもらったりしています。

編集 管理栄養士として勤務していますが、食品会社や病院、高齢者施設の中から何故、高齢者施設の栄養士になる事をえらんだんですか？

山本 もとから緩和ケアの管理栄養士になりたかったんですよ。栄養状態を考えつつもその中で好きな物を食べ楽しんでもらいたかった。

高齢者施設だと行事などがあるのでおやつ作りなどでご利用者様と直接かかわれるのも魅力的でしたね。

編集 例えばどんな行事が魅力的でしたか？

山本 クリスマスパーティーでケーキバイキングをしたのが特に楽しかったですね。いつもは決められたおやつですがこの日は何種類もあるケーキの中からご利用者様に選んでもらったりして喜んでもらえたのが嬉しかったですね。

編集 これからどんな行事をしていきたいですか？

山本 最近は男性のご利用者様も増えてきてるので居酒屋とかやつてみたいですね。

編集 話は変わりますがプライベートはいかがですか？

山本 友達と遊んだりしてますが、趣味がないので・・・。スポーツとかアクティブなことがしたいんですがなにかないですか？あと一人暮らしがしてみたいですね。

編集 良い趣味が見つかるといいですね。今日はありがとうございました。



津介護老人保健施設
管理栄養士 山本海智香

I KNOW MYSELF SINCE 1978

『I KNOW MYSELF SINCE 1978』は、8市にまたがって事業運営をしている私たちが、
自分たちで自分たちのこと（事業所）をもっと知ろう！
ということで広報委員が各事業所をレポートしていきます！

Introduction / はじめに

今回は鈴鹿シルバーケア豊壽園の山本と白塚ケアサービスセンターシルバーケア豊壽園の谷口が津市大門の津センターパレスにあります、つまちなか保育園とつまちなか居宅介護支援センター・在宅介護支援センター・つまちなか地域総合相談センターへ取材に行ってきました！



1 TSU MACHINAKA HOIKUEN
まずは平成31年4月から認可保育園になったつまちなか保育園にお邪魔させて頂きました！丁度ホールでは4～5歳児の子どもたちが流行りの鬼滅の刃の歌でダンス中でした。元気いっぱいのダンス♪どちらも自然と笑顔になされました。

2 作品展示では各クラスで作られた色々なお雑誌が飾られていました。フロアを歩く方たちにも見て頂けるように壁の一部が窓になっており工夫をしているとの事でした。

3 0歳～5歳まで一クラス10人程で現在は47名の園児さんが通われているとの事でした。たまたま、お散歩に出発される3歳～4歳児さんとお会いすることが出来ました。いってらっしゃいと声をかけると元気に「いってきまーす！！」と返してくださいました♪

4 続いてはつまちなか居宅介護支援センターへお邪魔させて頂きました。いつお会いしてもハワフルでお元気な島田施設長に案内して頂きました。

5 1階へ降りて地域総合相談センターへ。福祉用具の販売やシューズの販売もさえていてディスプレイが高級感がありデパートのような雰囲気がありました。

6 せっかくだからと体組成測定体験をさせて頂きました。看護師の大湯さんにダメ出しを受ける山本さん。

7 なにやら脳やかな様子だったので横をのぞかせて頂く。"津がんばるマルシェ"というものが開催されておりました。新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を受けている事業者様のPRの場を設けようという応援プロジェクトというごとでした。令和3年3月31日までの開催予定ですが日替わりのお弁当等様々な事業者様が参加されているとのことでした。

8 お昼時になり、お腹の時計も良い時間だったので、販売されているお弁当を～と思いついたが残念ながら前号で食されていたず"富や"さんのお弁当だったので少し足を延ばし、天むすの発祥のお店といわている"千寿"さんへ。デザートには"とらや"さんのいちご大福を頂きました。

9 そのまま大門商店街を散策させて頂き、津観音にお参り。熱心に何かを頼む山本さん、願いごと叶うといいですね！

10 津センターパレスを一周してくるとつまちなか保育園の庭園へ出できました。日当たりも良くどこかアメリカンな雰囲気もあり園児のみなさんはみえませんでしたが、楽しげに遊ぶ姿が想像できました♪つまちなか保育園の皆様、つまちなか居宅介護支援センターの皆様お忙しい中ありがとうございました！

Through the interview... / 取材を通じて…

つまちなか地域総合相談センター、つまちなか保育園は“津まつり”的会場にもなる津市の中心部にあり、保育園はワンフロアに全てのクラスがあるため先生の目がしっかりと届くような作りになっており、元気に踊る姿を見出し、我が子も通わせたいなと思えるような保育園でした。また、つまちなか居宅介護支援センターでは地域の方々との関わりをとても大切にされている印象でした。毎月体組成を計測されるご利用者様も見えるそうで自分のバロメーターになっている方、お一人暮らしの方々にとってここへ来ることで誰かとコミュニケーションを図る場にもなっているのだなと感じました。訪問介護員として携わっていたご利用者様が、現在もお元気に生活されているお話しを聞くことができ、とても懐かしくなりました。



社会福祉法人 洗心福祉会からのお知らせ

令和3年3月に開催されました理事会を経て、令和3年4月より社会福祉法人洗心福祉会の新理事長として、山田純大が就任いたしましたことをご報告いたします。
理事長交代後もこれまでと変わらず、地域福祉の発展のために尽力してまいります。
今後も当法人の運営にあたり、皆様からのご理解とご協力を賜りますよう何卒よろしくお願ひいたします。

社会福祉法人 洗心福祉会 法人理念

- 1 当法人は、公器として地域社会に貢献する。
- 2 当法人は、事業を通じ安心と健康をモットーに、夢と希望を創造する。
- 3 当法人は、未来発展を目指し、人々の生活と社会の変化に常に誠意を持って前向きに取り組む。